

重要事項説明書

保育の提供開始にあたり、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準（平成 26 年内閣府令第 39 号）第 5 条に基づいて、当施設があなたに説明すべき重要事項は次のとおりです。

第 1 事業者

※事業者名称	社会福祉法人てとろ
※主たる事務所の所在地	愛知県名古屋市東区出来町三丁目 20 番 9 号
法人等種別	社会福祉法人
代表者氏名	理事長 阿部(古内) 真由子
電話番号	052-737-1043

第 2 ご利用施設

施設の種別	保育所
施設の名称	てとろ大永寺保育園
施設の所在地	名古屋市守山区大永寺町 192 番地
施設長氏名	西垣 智子
連絡先	電話 052-725-8760 FAX 052-725-8761

第 3 施設の目的・運営方針

てとろ大永寺保育園（以下、「当園」という。）は、児童福祉法（昭和 22 年法律第 164 号）及びなごや子どもの権利条例（平成 20 年名古屋市条例第 24 号）の理念にのっとり、保育を必要とする乳児及び幼児の保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的とする。

① 保護者とともに子育てをします

保護者と保育者の会話を大切にし、日々のコミュニケーションによる信頼関係を築きます。その中で汲み取った各家庭のライフスタイルを尊重し、可能な限り、個々のリズムに合わせた保育を目指します。

② 子どもにとって第二の家庭、保護者にとっての身近な相談者となっていきます

愛情を最も必要とする乳幼児期に保護者の代わりとなり、心身から愛情を注ぎ、スキンシップを第一にした保育をします。「よく食べる」「よくあそぶ」「よく眠る」を大切にし、温かい家庭的な雰囲気の中で子どもと保護者にとって安心できる場所となっていきます。

③ 保護者と地域を結びつける役割を担います

園児とその保護者は、地域の中で日常生活を送っています。地域の中で生き生きと暮らすことができるよう、園生活の中でも地域との連携をとっていきます。

第 4 施設・設備等の概要

(1) 施設

敷 地	敷地全体	1092.26 m ²
	屋外遊戯場	471.00. m ²
園 舎	構 造	RC 造り
	延 べ 面 積	499.85 m ²

(2) 主な設備

設 備	居 室 数	備 考
乳 児 室	1 室	さくら組 (0 歳児クラス) ちゅうりっぷ組 (1 歳児クラス)
保 育 室	4 室	ばら組 (2 歳児クラス) ゆり組 (3 歳児クラス) すみれ組 (4 歳児クラス) ひまわり組 (5 歳児クラス)
遊 戯 室	1 室	
調 理 室	1 室	
医 務 室	1 室	
事 務 室	1 室	

第 5 利用定員

認 定 区 分		利 用 定 員
2 号 認 定 子 ども		6 6 人
3 号 認 定 子 ども	満 1 歳 以 上	2 8 人
	満 1 歳 未 満	6 人

第 6 職員の配置状況

当園では、「名古屋市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例（平成 24 年名古屋市条例第 100 号）」の定める基準を遵守し、保育の実施に必要な職員として、下記の職種の職員を配置しています。

職 種	員数	常勤	非常勤	備考
園長	1	1	—	
主任保育士	1	1	—	
保育士	10	10	0	
医師（嘱託医）	2	—	2	
調理員	2	2		

※ その他、必要に応じて職員を配置しております。

第 7 職員の勤務体制

職 種	勤 務 体 制	備 考
園長 主任 保育士	早番 7：30 ～ 16：30 日勤 9：00 ～ 18：00 遅番 10：30 ～ 19：30 *ローテーションにより、各保育教諭の勤務日及び勤務時間帯は異なります。	
調理員	7：30 ～ 16：30	

※ 職務の都合上、上記とは異なる勤務時間帯となることがあります。

第 8 保育を提供する日、時間

開 所 曜 日	2・3号	月 ・ 火 ・ 水 ・ 木 ・ 金 ・ 土	
開 所 時 間 (延長保育)	2・3号	平日	7：30 ～ 18：30 (～19：30)
		土曜日	7：30 ～ 18：30 (～19：30)
		日曜日・祝日	休園日
		コア時間	8：30 ～ 16：30

※ 12月29日から1月3日は休園日となります。

※ 表中の号数は、子ども・子育て支援法第 20 条に規定される教育・保育給付認定の各区分を表しています。

※入園後一週間を目途に慣らし保育を行います。

第9 提供する保育の内容

当園は、保育所保育指針（平成29年厚生労働省告示第117号）に基づき、園児の心身の状況等に応じて、次に掲げる保育の提供等を適切に行います。

(1) 当園の保育の理念

法人理念である「百花繚乱」を軸に、尊厳ある個々の生活を大切に、個と全体の調和を図ります。保育者が最小の制約のもとで支援し、利用者が最大の自由のもとで自分らしい生活を営んでいくことにより、それぞれの利用者が家庭やコミュニティーの中でその人らしい尊厳ある生活を営めるよう、また、心身ともに健やかに生きていく権利を支持します。

(2) 当園の保育の目標

- ・ 信頼し、信頼される子
- ・ 自立心のある子
- ・ がんばる力のある子

(3) 当園の保育の内容に関する全体計画

当園の保育課程及び、保育理念、保育目標に基づいて策定される

- ・ 月案（0歳～5歳）
- ・ 日案／週案（0歳～5歳）
- ・ 個別児童計画（0歳～2歳）

にのっとり保育を行います。

(4) その他

特になし

(5) デイリープログラム (一日の流れ)

平 日		土 曜 日	
時間	活 動	時間	活 動
7:30	開門・保育準備 早朝保育 順次登園 保護者と一緒に保育園に来ます。 ・0～2歳児、3～5歳児に分かれて室内自由遊びをします。	7:30	開門・保育準備 早朝保育 順次登園 ・室内自由遊びをします。
8:30	・年齢別クラスに分かれたり、異年齢で交流したりしながら、保育士や友達と一緒に戸外又は室内で自由遊びをします。	8:30	異年齢交流保育
9:00	おやつ (乳児)	9:00	おやつ (乳児)
9:30	片付け～計画にそった活動 ・散歩、リズム、造形、音楽、集団遊びなど年齢ごとに遊びます。	9:30	・異年齢で交流しながら、保育士や友達と一緒に戸外または室内で遊びます。
11:00	給食 (0・1・2歳児) *	11:00	給食 (乳児・幼児)
11:20	給食 (幼児) *		
12:00	午睡 (乳児) **	12:00	順次、保護者と帰ります。
12:30	午睡 (3歳児) **		午睡 (乳児・幼児)
13:00	戸外又は室内自由遊び (4, 5歳児)		
14:20	片付け (4, 5歳児)		
14:30	目覚め (0～3歳児)	14:30	目覚め
15:00	おやつ	15:00	おやつ
15:30	降園 夕刻保育 ・順次、保護者と帰ります。 ・戸外又は室内自由遊びをします。 ・0・1歳児、2歳児、3～5歳児と分かれて遊びます。		室内遊び
18:30	延長保育 おやつ	18:30	延長保育 おやつ
19:30	保育終了・閉門	19:30	保育終了・閉門

* 離乳食、食物アレルギー対応食を提供し宗教食の配慮もします。

** 3歳児は12月頃までを目途に、4・5歳児は夏期のみ午睡します。

(6) 年間行事計画

月	行 事
4月	・入園式 ・進級式
5月	・遠足（幼児） ・保育参観・クラス懇談会（幼児）
6月	・保育参観・クラス懇談会（乳児） プラネタリウム見学（5歳児） ・歯科検診
7月	・夏まつり ・七夕まつり ・プール開き ・おじゃま虫キャラバン
8月	・平和講話 ・内科健診
9月	・引き取り訓練
10月	・運動会 ・遠足 ・いも掘り ・ハロウィン ・個人懇談会（幼児）
11月	・守山区保育まつり（5歳児） ・個人懇談会（幼児）
12月	・クリスマス会 ・保育参観・クラス懇談会（5歳児）
1月	・いちご動物園 ・保育参観・クラス懇談会（2歳児）
2月	・節分会 ・保育まつり（5歳児） ・お別れ遠足 ・保育参観・クラス懇談会（3・4歳児） ・クラス懇談会（0・1歳児）
3月	・ひなまつり ・お別れ会 ・卒園式（5歳児） ・新入園児健康診断 ・内科健診

※ 誕生会・身体測定・避難訓練は毎月実施します

(7) 給食の提供

◎給食・おやつ提供

給食・おやつは、園内の厨房で手作りして提供します。

市販の菓子類を使用する際は、安全で食品添加物の少ないものにしていきます。

全年齢児とも完全給食です。

◎献立について

名古屋市の献立に準じています。

食べやすい大きさ、かたさ、舌ざわりを考え、薄味になるようにしています。

年齢にあった量を盛り付けるようにしています。

安全で衛生的な給食づくりに努めています。

◎離乳食の対応

名古屋市献立表を基準にし、離乳食中期より対応します。保育園の栄養士がお子様の成長及び発達に応じて調理し、提供します。

◎食物アレルギー食の対応

食物アレルギー等で食べられないものがあれば、入園時に面談の上、除去食の提供をいたします。また、除去食の提供に関しては医師の指示書をご提出いた

だきますようお願いいたします。

◎食育への取り組み

保育過程とともに食育計画を作成し、子どもたちの発育に応じた食育を目指しています。

(8) その他事項及び事業等の実施状況

・障害児保育

心身に障害を有し、かつ集団保育が可能な子どもを受け入れ、健常児とともに保育することにより、障害児の成長・発達の促進を図り、障害児に対する理解を深めます。

・延長保育

保護者の就労形態の多様化、通勤時間の増加等に伴う保育時間の延長に対する保育需要に対応するため、保育時間の延長を行います。

・その他

働く保護者が出産後も継続して勤務できるように、生後6ヶ月からの保育を実施しています。

第10 利用料金

(1) 保育にかかる利用者負担額（利用料）

名古屋市が定める利用料をお支払いいただきます。

(2) 延長保育にかかる費用

保育標準時間・保育短時間の2区分に対応した、延長保育事業を実施します
延長保育を利用された場合は、名古屋市が定める上限額の範囲で、下記の利用料をお支払いいただきます。

また、18:30におやつを提供をさせていただき、おやつ代として一食50円をご負担いただきます。

種別	費用	区分	金額
延長保育	利用料	生活保護世帯、市民税非課税世帯	0円
		市民税均等割のみ世帯	日額 100円
		市民税所得割課税額40,800円未満の世帯	
	市民税所得割課税額40,800円以上の世帯	日額 200円	
		おやつ代実費相当額	日額 50円
短時間延長	利用料	生活保護世帯、市民税非課税世帯	0円
		市民税均等割のみ世帯	日額 100円
		市民税所得割課税額40,800円未満の世帯	
		市民税所得割課税額40,800円以上の世帯	日額 200円

(3) 教育・保育において提供される便宜に要する費用及び特定負担額

・便宜に要する費用

当園では、第9に掲げる保育を提供するにあたり、必要となる物品の購入や行事への参加等に係る実費をお支払いいただきます。

主活動等で必要となる教材及び行事に係る費用については、都度ご案内します。

区 分	項 目	負 担 額
便宜に要する費用	給食主食費（2号）	月額 900円
	給食副食費（2号）	月額 4,500円
	教材費（ハイター 帽子など）	2,000円～5,500円程度
	専科・行事への参加費用（衣装代・バス代など）	2,000円～4,000円程度

第11 利用の終了に関する

園児が、次に該当する場合

(1) 園児が小学校へ就学し

園児が満6歳に到達して最初の3月31日を迎えたとき

(2) 園児の保護者が、「子ども・子育て支援法」に基づく教育給付が受けられなくなったとき

(3) その他、当園の利用を継続することが困難な事由があるとき

【参考】

いちご動物園¥1,000程度
プレゼント代¥1,000程度

【参考】大永寺バス代

合計¥7,280(志段味)

プラネタ¥1,410

守山区保育まつり¥2,250

遠足¥????

保育まつり¥1,500

第12 緊急時等の対応方法

(1) 医療機関

園児に体調の急変等の緊急事態が発生した場合は、速やかに保護者の緊急連絡先等又は嘱託医・嘱託歯科医への連絡を行います。

医療機関の名称	もりやまこどもとアレルギークリニック
医師名	吉田 明生
所在地	名古屋市守山区幸心3丁目1507-2
電話番号	052-795-2001
医療機関の名称	ルアーナデンタルクリニック
医師名	林 哲平
所在地	名古屋市守山区大永寺町264番地
電話番号	052-791-4618

(2) 災害共済給付制度への加入

当園では、公益社団法人私立保育園連盟契約の「ほいくのほけん」に加入契約しています。

第 13 非常災害対策

暴風警報発令時	・ 警報が発令されている間の保育は登園見合わせとします。 原則として警報解除後 2 時間より保育を再開します。
警戒レベル 3 (高齢者等避難) 発令時	・ 適用区域内の保育園は、解除されるまで休園となります。 ・ 登園後に発令された場合は、避難場所まで避難させますので、お迎え場所を確認し、速やかにお迎えに来てください。
警戒レベル 4 (避難指示) 発令時	
警戒レベル 5 (緊急安全確保) 発令時	
特別警報発令時	
南海トラフ地震に関連する情報 (臨時)	・ 情報の内容により保育園は休園になる場合もあります。 ・ 登園後に休園が決定された場合は、通常の保育は中止になりますので、できる限り早くお迎えにきてください。 ・ 休園が決定された場合は、すみやかに園から連絡します。
避難訓練	・ 地震・火災避難訓練は毎月実施します。
非常災害用備蓄	・ 名古屋市指示の必要 食料品を備蓄 ・ 名古屋市指示の必要 生活用品を備蓄

第 14 防犯、事故防止のための措置

当園は、園児の安全を確保するため、防犯訓練、事故防止研修を毎月実施します。また、不審者対策としてセキュリティ会社による 24 時間警備も併せて実施します。守山警察署、守山消防署に指導を仰ぎながら防犯訓練・避難訓練を毎月実施しています。

また、事故防止の為の施設安全対策として家具には転倒防止装置などを設置しています。又、事故防止のための研修会参加職員による情報の共有も職員会議を通じ実施します。

第 15 虐待の防止のための措置

当園は、園児の人権の擁護、児童虐待の防止のため、虐待防止に関する責任者を選任するとともに、職員に対し研修を実施します。

第 16 苦情等の受付について

当園における苦情やご相談は以下の窓口で受け付けます。

当園苦情相談窓口	苦情解決責任者 理事長 阿部(古内) 真由子 連絡先 TEL 052-737-1043 (社会福祉法人てとろ事務局 月～金 10:00～17:00) 苦情受付担当者 施設長 西垣 智子 連絡先 TEL 052-725-8760 (てとろ大永寺保育園 月～金 10:00～17:00)
第三者委員窓口	第三者委員 弁護士 宗 真紀子 連絡先 TEL 052-218-5645 (弁護士法人愛知リーガルクリニック月～金 10:00～17:00) 第三者委員 法人監事 小川 順一 連絡先 TEL 052-910-3533 (株式会社セラム月～金 10:00～17:00)

※この重要事項説明書の内容は、令和6年4月1日現在の情報となります。